

## 編集後記

第17巻発行にあたり、企画・編集の中心となって下さった成田赤十字の齋藤さんはじめ編集委員、執筆者の皆様に感謝申し上げます。微力ながら、一冊の雑誌を作り上げてく過程に参加できましたことを嬉しく思っております。また、表紙のイラストを私の長女にお任せいただきました。美大の4年生ですが、仕事として絵を描くのは初めてでしたので、たいへん貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。今回編集に関わらせていただいた事で、今まで以上に「日赤図書館雑誌」への愛着が湧いたように思います。(深谷・中村哲子)

\*\*\*\*\*  
関東ブロック担当の編集部の作業、詩集を自費出版で出したことはあり校正の事は少しは分かっているつもりでしたが、いざ関わってみると公人としての判断力に欠けていることが分かりこの雑誌の伝統を感じました。この伝統は続けていかなければいけないと改めて感じています。(大田原・入田和恵)

\*\*\*\*\*  
今年度は関東ブロックが機関誌担当ということで、7月の総会で役割分担が決まり、私にとっては初めてのことで、手探りの中で進んでいきました。投稿してくださった著書の皆様、右も左も分からない私に色々教えてください助けてくださった皆様、心より御礼申し上げます。「このようにして一冊の雑誌が作りあげられていくのだ」と実感することができ、大変よい経験となりました。日々の業務も頑張っていきたいと思います。(芳賀・飯山かおり)

\*\*\*\*\*  
昨年日赤図書室協議会に入会して、今回初めて編集部の仕事に参加しました。といっても、殆ど何もしなかった感じで申し訳ありません。

来年7月に新棟に引越します。どのようにしたらスムーズにできるのか、どなたか経験者の方にお知恵を拝借したいと思っております。

この雑誌発行に携わった皆様、お疲れ様でした。(足利・沼田裕子)

\*\*\*\*\*  
今回初めての参加となった協議会・研修会、そして会誌発行への参加。何も分らず、同役員の皆様には大変ご迷惑をお掛けし申し訳なく思っています。

自分次第で良くもなり、悪くもなる図書室。日々、自分の未熟さを痛感しています。

今後は、全ての職種、職員に利用してもらえる『みんなの役に立つ図書室』を目標に、頑張りたいと思います。

お世話になった皆様、ありがとうございました。(水戸・清宮晴美)

## 日赤図書館雑誌

第17巻 第1号(通巻22号) 平成22年10月1日(年1回)

編集役員 齋藤美雪(成田赤十字病院)

編集委員 関東ブロックメンバー

印刷所 株式会社みつわ

発行 日赤図書室協議会

事務局 日本赤十字社和歌山医療センター図書室

〒640-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目20番地

TEL 073(422)4171 FAX 073(421)8031(図書室)

年会費 個人・機関：¥4,500 定価：一部¥1,000